

Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 阿部 信行 編集責任者 足立 聡 印刷所 東京印刷(株)



新年のごあいさつ

鳥取県西部中小企業青年中央会
会長 阿部 信行

新年あけましておめでとうございます。

平成8年、いろいろな意味で「今年こそは」の1年の幕開けです。

昨年は我々が生まれてからこの方経験したことの無いようなショッキングなニュースが飛び交い、我々の社会生活にも少なからず影響を及ぼしました。

「今年こそは」平穏で明るい年であって欲しいと願うばかりです。

バブル経済が崩壊して右肩下がり経済トレンドももう5年が過ぎました。

休養も十二分であり、いつでも出動態勢はできています。95年度に出された数々の政府の経済対策も今年は徐々に効果が現れてくるでしょう。

先日各紙の1面に新王子製紙米子工場の設備投資計画の発表がありましたことは皆様はすでにご存じのことと思いますが、830億円の設備投資計画、この計画は地元のみならず、日本経済に対してのインパクトも大きいものと思います。今までカチカチに凍結していた投資マインドが少しずつ解け始めた現れではないでしょうか。

またそれに伴う二年間で160名の新規採用計画、久々の明るいニュースです。地元の期待はいやが上でも大きな盛り上がりになるでしょう。

今年は早ければ春先にも衆議院選挙が予定されています。国民は今まで「変革」を求めて来ましたが、その選択をして

現在のこの日本国の情勢です。

もうこの次は「安定」を欲しているのでは無いでしょうか、それが新しい風なのか。もう一度あの55年体制なのか、はたまた他の選択肢なのかはわかりません。しかし間違いなく言えることは「政治は経済に優先する」のであって決して政治が経済に引っ張られるような脆弱な政権基盤ではこの先も期待はできないでしょう。

これ以上にジャパンプレミアムを付加されることはかつての日本経済を考えると屈辱以外のなにものでもありません。

このように書くと今の不況が政治責任のようになってしまいますが、いつの時代も我々中小企業は自分で自分自身を鍛え上げるしかないように感じます。

青年中央会活動も所属企業の体力が十分であって初めて参加できます。

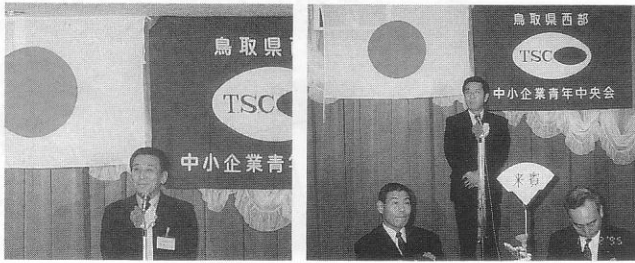
いまこそ各々の仕事に励み、明るく楽しい活動してお互いの友情の輪を広げてください。せっかくの出会いなのだから……。

今期も折り返し地点にさしかかりました今期のテーマ「責任ある活動」、同じ活動するならば、「今年こそ」積極的に参加をして充実感を味わおうではありませんか。

そして所属企業に何らかの勉強の成果を持って還ってください。

思っているほど青年の時間は長くありません。

12月忘年会報告



去る12月18日(月)「ホテルわこう」に於いて、現役会員96名、OB会員23名の参加のもとに、恒例の忘年会が開催されました。開催にあたり、平成7年の事件では忘れてはならない阪神大震災の犠牲者に対し一分間の黙祷が行われました。

最初に阿部会長より「この一年間をふり返ってみると、1月の阪神大震災、3月からのオウム関連事件等、どのニュースを見ても100年に一度あるかないかの大変ショッキングな一年間であった。

今期も折り返し点までできたが、『責任ある活動』—MORE ACTIVE—そして、会員所属企業及び地域社会に活動の成果をフィードバックすることを、再度自覚して頑張してほしい」との挨拶があり、引き続きご来賓の代表、有田勝徳中小企業団体中央会専務理事、OB会より松田一三OBよりご挨拶をいただき、渡部浩之商工中金米子支店長により乾杯のご発声を合図に宴会がスタートとなりました。

さて、今回の宴会のアトラクションは、参加者全員が期待している、何が出るかわからないチャリティーオークションでした。

オークションの司会進行役は、市位総務委員長と徳中会員の2人で、この2人のユーモアたっぷりの進行に会場は始終笑いが絶えない状態でした。出てくる商品は、さすが異業種の集団、「我ら

青年中央会」よくもこんなに色々な商品が集まったなと言う感じで、数多くの商品が競り落とされていきました。

某写真スタジオの家族写真無料券、今評判のやせる石鹸、10,000円相当の煮干、携帯電話、お仕立券付きカシミアのブレザー(看護婦さんの白衣付き)、女性タレントのポスター、藤居直前会長のポスター?等素晴らしい商品ばかりで、現役、OB、関係なく必死で声を張り上げての競りが続き、最後に今回のオークションの目玉商品の「マルチメディアパソコンFMV」定価228,000円の特別入札の発表があり、中ノ森会員が158,000円の落札でオークションは終わりました。今回の収益金は目標200,000円に対し、395,570円となる大成功でした。この収益金は新日本海新聞社を通じて、阪神大震災の義援金として贈られる事になりました。皆様のご協力、本当にありがとうございました。

久しぶりの先輩諸氏との歓談、大成功のオークションで盛り上がった忘年会でしたが、最後に中島睦夫OBによる万歳で閉会となりました。



乾杯



声の続くかぎり...



新入会員の顔見せ

突撃同行レポート

「死闘編」



日常生活の中でもし人間が猛スピードで突っ込んで来たとしたら。よけるのが普通である。

それを敢えてぶつかり、更に押し倒す。何とも危なっかしいスポーツ、ラグビー。

今回の体験レポートは森尾副会長、樋口広報委員長の所属する、米子ラグーオーバーフォーティの試合に ①相手チームが40歳以上であること ②あまりボールの来ないバックスのウイングあたりをポジションすること ③途中交代はいつでも可能であること。などの条件付きで出場させてもらう(させられる?)こととなった。

米子ラグーオーバーフォーティは読んで字の如く、40歳以上のラグーマン達の集まりで、ラグビーチームの年長組といったところだろうか。チーム内最年長は63歳で、年齢順に年長者から自分のやりたいポジションを取って行くという、オリジナルなルールがある。

今回の相手は大阪ドクターズという関西圏のお医者さんで構成されているチームで、遙に、家族と共に総勢26名で遠征に來られた。

小生、当年32歳、スポーツに多少の自信あり、20年程前には、初代ラグビースカールの卒業生でもあり、このラグビーというものに多少の心得もある。更に、捻破りの条件を提示し、内心、脂下った40過ぎのお医者様相手ならもしかすると、うまく、タックルをかわし、トライということになるかもしれぬと、ほくそ笑んでいた。

がしかし、この慢心も試合開始数分前には吹き飛ばされていた。

上半身はどうみても贅肉まじりの筋肉を充分支え得るだけの強靱な足腰。フォワード陣に至っては、まさに、重戦車である。「あんなおっさんにタックルくらったら、あばら骨の1本や2本じゃあ済まねエじゃねエか」と、不安を通り越し、恐怖の序曲が全身を震わせ始めたのであった。



森尾副会長の勇姿を取材する為ゴールポスト付近に陣取るものの、両チームの激しいぶつかりあい。いい年をしたおっさんが鼻血を出し、唇を切る。そして時には脳震盪さえおこしている状況は、フィールドの格闘技を越えた、地獄絵図を見る様で、あと、数10分もするとあの中に入って肉の塊に押し倒されたりするのかと思うと、何故取材を『NO!』と言えなかったのかと、腹だたしささえ覚えた。そして恐怖の時間はやってきた。前半終了のホイッスル。

樋口委員長に、左のウイングというポジションの指示を受け、自分の攻守の位置をフィールド内で確認するものの不安になり、

フルバックのポジションの樋口委員長に「たのみますけん後ろからコーチングして下さい。そげせんどこに動いたらいいのかわからんようになるかもしれないけん」と言うのと、「まかしとけやい、楽しんで行かいいや」の心強い声。のはずだが、やはり恐怖まじりの不安は一向に変わらない。

後半開始のホイッスルもよくわからず、ともかく自分の半径10m以内にはボールはもとより、敵も味方も侵入して来ないことを祈るばかりであった。

「相手ウイングのマークネ」「オープン攻撃の時は背番号11の人のフォローに入って」「前に出過ぎるなヨ」「もっと右、違うもっともっと右」と厳しい声が、フルバックからかかる。ともかく、マイペースという言葉がこれほど不似合いな状況は経験がない。敵のマークに全力疾走、マイボールの時はラインのフォロー。無酸素運動状態が続く。

人間ブツン切れると恐ろしいものである。頭の中がアドレナリンでいっぱいになると、敵のマークがボールを持つと、牛の様にタックルに行くし、パント攻撃の時は敵陣に猛然と突っ込んで行ける様になる。そしていつの間にかモールの中にまで突っ込んで行き、初めてのボールタッチ。しかしその代償があまりにも大きかったことは後で身にしみてわかることとなる。

半ば放心状態のうちにノーサイドのホイッスル。試合終了の挨拶を終えると、相手に握手を求め肩を抱き合っていた。

男同士が抱き合う、これほど不自然な行為が自然と出来たことに久しぶりの充実感を味えた様に思う。

その後、手、足、背中、腰に青アザができ、臀部を大きくすりむいており、丸2日程、筋肉痛と打撲の痛みに悩まされた。

しかし、大の男が楕円形のボール奪い合い、唇を切り、鼻血を出す。普段ではとても恥ずかしいと思われた事が、とても美しくそして力強く見えた。これがラグビーの魅力なのかもしれない。

前後半フル出場の森尾副会長の若々しさに敬服しつつ、米子ラグーオーバーフォーティ、そして大阪ドクターズのフィフティーンに拍手!
b y 中島太郎

12月度委員会報告

政治・行政委員会

平成7年12月5日(火) 於: 皆生芙蓉
出席者/13名
内容/12月委員会は忘年会と一緒に皆生芙蓉に行いました。6月~12月までの委員会及例会等の反省会を行い、特に倉敷委員長より出席率向上の要請がありました。来年に期待したい!!(全員ガンバルぞー!!)
次に忘年会に移り、カラオケ、ゲーム、次々に練り広げられるコンパとのスキンシップ。日頃築き上げた…音をたてて崩れて……!!料理もよし、コンパもよし、司会もよし。ヨシ、ヨシで来年も行きたいネー。

社会・文化委員会

平成7年12月15日(金) 於: 美保ノ荘(皆生温泉)
出席者/15名
内容/①阿部会長挨拶 ②梅林委員長挨拶 ③役員会報告
④1月担当例会打合せ。(講師、例会の型体等の打合せ)
●事前にアンケートを取って、それを参考にして講師先生に答えて頂く様な形で行う予定。
●その後、ナベを囲んで忘年会に突入。

地域ビジョン委員会

平成7年12月11日(月) 於: ホールサムイン皆生
出席者/15名

内容/ 忘年委員会

合併問題に関するアンケートの内容を討議、このままでは乾杯の時間が営業時間を過ぎてしまうのではないかと心配になる程多くの貴重な意見ができましたが、そこは皆さん大人のメンバー。阿部会長以下、久古会員の勤務先であるホールサムイン皆生でおおいに親睦を深めました。

経済委員会

平成7年12月7日(木) 於: 米子食品会館
出席者/11名
内容/12月忘年例会打合せ 前期とりまとめ(反省)
1. 副会長挨拶
2. 浜田委員長より役員会報告
3. 忘年例会役割分担決め
4. 会員が思う社会情勢等ディスカス

情報メディア委員会

平成7年12月7日(木) 於: 皆生菊乃家
出席者/16名
内容/1年の反省及び、忘年委員会役員会報告、12月例会の出し物の打合せなどの後、忘年会へと続いた。色々なゲームをコンパニオンさんを交えて行い大変有意義な委員会であった。
内容は……とても良い勉強会でした。

裏面にづく

12 月 度 委 員 会 報 告

広報委員会

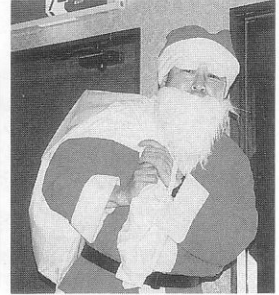
平成 7 年 12 月 6 日 (水) 於：米子食品会館
 出席者 / 15 名
 内 容 / ○12 月役員会報告
 ○1 月ハンサム企画打合せ
 ○2 月ハンサム企画打合せ
 ○尚、委員会を早く切上げ、席を変えて二次会へ、出席者全員二次会へ!!

総務委員会

平成 7 年 12 月 11 日 (月) 於：美さご
 出席者 / 15 名
 内 容 / 1. 綱領唱和
 2. 委員長挨拶
 3. 役員会報告
 4. 議事
 12 月忘年会打合せ (12 月 18 日 於：わこう)
 1. タイムスケジュール最終確認。
 2. 担当役割最終確認
 ※終了後忘年会

経営投資委員会

平成 7 年 12 月 20 日 (水) 於：米子食品会館
 出席者 / 12 名
 内 容 / クリスマス家族委員会
 今月の委員会はクリスマス家族委員会といたしました。阿部会長夫妻をはじめとして総勢 44 名の参加となり、大人も子供も一緒になって盛りあがりました。M 副会長のサンタクロース姿は本当に良く似合っていました。(ゆうパックの配達で鍛えられたか?) 家族紹介は奥様が、会員の家庭でのお父さんぶりもまじえて紹介されました。最大の禁句「中央会は月 2 回」を引用された奥様もおられました。それでもなんとか今月の委員会で日頃の罪滅ぼしが出来たようです。



聞いてごしない Part 9

「誓い ……」

新年おめでとうございます。
 諸兄には飛躍の年になりますよう、まずは月並みですがお祈り申し上げます。
 私にとって、毎年正月には今年はあるでしょう、こうなるとやろうと思うわけであるが、5 日ぐらい過ぎる頃になるとあやふやになり、10 日を経過するころはもう完全に忘れ去って時おり思いだし、まあいっかとなる数年間であった。
 ところが、であります。心に誓ってできたことのない私が、できたことが昨年あった。
 それは、春 4 月に健康診断を受けた結果が血糖値が高く、先生いわく「あんた、糖尿病の一步手前だよ。」ゲッ! 糖尿病と言え、うまいものが食えず、あれもできない、酒も飲めないと云う三重苦の病ではないか。
 この三つを我慢せいと云われたら何のために生きているのか分からない。そこで医者のおり減量することとなり、ご飯は茶碗に半分、昼食はなんでも大盛だったのが普通に、酒のつまみは野菜とし、二日に一回はランニング 5 キロを走った。そうしたら夏を過ぎる頃になると体重は 20 年前のレベルに戻っていた。あの 8 kg のぜい肉はどこにいったんだろう。
 我がままに不思議に思うほどあっけなく減量でき、永年苦しんできた腰痛も嘘のように消えていた。
 看護婦さんはすごいわねえと言ってくれるし、知り合いはどうしたんだと言う。
 俺って、やろうと思えば何でもできるんだ!
 はい、ここまではよかったんです。
 自信過剰の私は忘年会シーズンに突入し、飲むわ食うわ、おまけに帰ってから飲むという暴挙に出た。つけはすぐに体に現われ、かぜをひきながらも体重増加、忘れていた腰の痛みもぶり返し、二日酔いの目をもうろうとして仕事をする羽目になった。
 そこで教訓、一時の幸せや成功は本物でない。継続こそ力なり。
 新年早々勝手なことを吹いとりますが、まずは今年も、よろしくお祈り申し上げます。 酔狂人

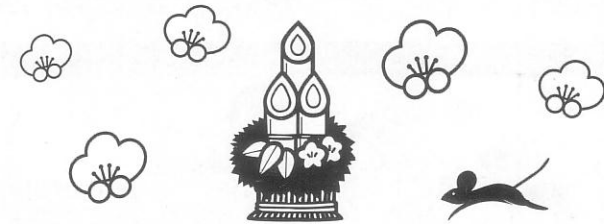
1 月例会案内

日 時 1 月 16 日 (火)
 受付 18:30~
 場 所 米子国際ホテル
 演 題 「子供の人権について」
 講師 安田寿朗弁護士

※出席の有無を 1 月 11 日までに返信ハガキにてご回示下さい。

1 月役員会報告

1 月定例役員会が 1 月 10 日 (水)、米子食品会館に於いて開催された。当日の主な議題は、次の通り。
 (1) 1、2、3 月例会開催の件
 (2) その他
 ※尚、詳細については各委員長までご照会下さい。



厄落としの会 案内

- (1) 日 時 平成 8 年 1 月 21 日 (日)
- (2) 集合場所 皆生菊乃家 AM10:30 集合
- (3) 祈祷神社 神田神社 AM11:00
- (4) 問い合わせ 世話人 安部 利夫 長谷川 郁

編集後記

明けましておめでとうございます。明けるのが待ち遠しかった。昨年は震災に始まり宗教、政治、金融など全わるものが変化をきたした。しかし我々は決して愚かではない。我々の想像力 (心) は必ず未来の進化と向上のみ順応していくと信じたい。ことし一年「怒らず、恐れず、悲しまず、正直、親切、愉快に、力と勇気と信念とをもって活き」てゆきたい。
 広報 松本弘志